

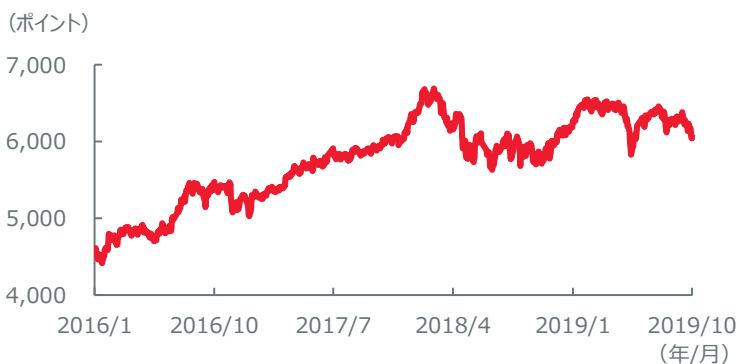
# Indonesia Weekly

2019年10月7日



(対象期間\* : 2019/9/23~2019/10/4) \*2019年9月30日号休刊のため、対象期間は2週間

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日~2019年10月4日)



## 【株式市場】

材料難を背景に出来高が薄い中、外国人投資家による資金流出により、上値の重い展開となりました。また、刑法改正法案や改正汚職撲滅法撤回を訴える学生のデモが全国に拡大し、一部が暴徒化するなど激化していることなども重石となりました。2日、国営銀行の資産の質に対する懸念から、大手銀行株が全面安となり株式市場は節目とみられていた6,100ポイントを割り込みました。

2019/9/20	2019/10/4	変化率
6,231.47	6,061.25	-2.73%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日~2019年10月4日)



## 【債券市場】

インドネシアの債券市場は上昇（利回りは低下）しました。24日に行われた国債入札は前回よりやや低調となりましたが、引き続き外国人投資家からの強い需要が見られました。しかし、全国規模に拡大している学生のデモの激化を受けて、リスク回避的な動きが強まり、国債入札後の債券利回りは上昇しました。対象期間を通して、インドネシア10年国債利回りは低下しました。

2019/9/20	2019/10/4	変化幅
7.247	7.233	-0.014

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日~2019年10月4日)



## 【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。全国各地に拡大した学生らのデモを嫌気してルピアは下落傾向となりました。ジョコ大統領は学生らのデモの激化を受けて、改正汚職撲滅法の施行延期を検討する姿勢を示しましたが、その後もジャカルタの国会周辺などでデモが行われました。その後、米国の経済指標の悪化を受けて、世界的に米ドル安傾向となったことからルピアは対米ドルでやや回復傾向となりましたが、対円では引き続きルピア安となりました。

2019/9/20	2019/10/4	変化率
0.7682	0.7539	-1.86%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ